高校国語現代文　小説問題を解く前に02　登場人物の心情と捉えるコツ

例題B　次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

「誰がやったのか、何か気がついた人はいますか」
ああ～またこの学級会の流れかぁ・・・
うちのクラスは、何か問題ごとがあるとすぐにこういった裁判みたいな流れになる。
問題を起こした人を悪いと決めつけて、さらに必要以上に悪いと糾弾するような展開になっていくのがいつものパターン。
私はこれが苦手だ。学級会の時間全部を使ってしまうし、すごく長く感じられて空気も重い。
担任のイスア先生はいつものこの流れをただ眺めているだけのように見える。そこには、大人が介入することなくクラスのみんなで解決できるようになって欲しいというような、教育的な考えがあるのか無いのか・・・。
しかも今回は困ったことに、その犯人が誰なのかがわからない。だから裁判というよりもまずは犯人探しということになっており、雰囲気は一層暗い。
たしかに黒板に人の悪口を大きく書いておいたことは問題だとは思う。でも、こんな形でずっと学級会をしていても、犯人は名乗りでないだろうし解決にはならないような気がする。
いや、あえて犯人探しをしなくてもいいんじゃないか・・・
そうは思うけど、私は手を挙げて発言するようなタイプじゃない。なのでいつも黙ってまま。クラスの大半の人もそうだろう。でも誰かが何か言わないと進まない。
そんなことを考えていると、ザクミが手を挙げた。
「あのう・・・このことは問題だとは思うんだけど、犯人探しを絶対にしないとダメなの？」
この発言に、私は少しドキッとした。

（縞井　一樹「ねむとクロの森」より）

問　＿＿傍線部のようにありますがなぜですか。次の選択肢から最も適当なものを選びなさい。

1　ザクミの発言で、同じ議題で長く続く学級会が早く終わりそうで嬉しく思ったから。
2　ザクミの発言を聞いて、もしかしたらザクミこそが犯人なのではないかと思ったから。
3　ザクミの発言を聞いて、まるで今の私の心の中を言い当てられたような気がしたから。
4　ザクミの発言で、クラスメイトが次々に発言をして学級会が紛糾しそうな予感がしたから。
5　ザクミの発言によって、犯人は心の中でホッとしているに違いないと思ったから。

解答へのステップ

なぜですか　と問われてはいますが、設問は登場人物「私」が、ドキッとした時の心情を聞いているので、それに合っている選択肢を選ぶんでしたね。
でも、先ほどの例題Aとは違って、全く心情とは言えなかったり心の動きが単純過ぎる内容も無く、5個の選択肢全てが「私」の心情のようにも思います。
この場合、うまく選択肢を絞っていくいはどのようにすれば良いのでしょうか。
次のページで解説です。

解答と解説

選択肢をひとつずつ検討していきましょう。

1　は本文の前半に　長く感じられて　とあるので、ザクミの挙手の発言によって　早く終わりそう　にはつながるかもしれませんが、嬉しく思った　はどうしょうか。ドキッとした　とつながりが無いように思います。

2　は本文のこの場面のみからはわからないことだと思います。本文では「私」は　犯人探しをしなくてもいい　と思っているので、この選択肢を選んだ人は「私」の心を深読みし過ぎです。

3　は直接本文に書かれている箇所が見当たりませんが、「私」が　そんなことを考えて　いるところにザクミの発言というタイミングなので、ドキッと　につながりそうな気がします。

4　は本文の後半に　黙ったまま。クラスの大半の人もそうだろう　と　あるように誰かの発言をきっかけに急に議論が活発になるとは思えません。また、ドキッとした　ともつながらない感じがします。

5　も本文のこの場面からはわからないので深読みし過ぎな内容ですし、ドキッとした　とも関連しないでしょう。

ということで、正解は　3　です。本文の「私」の心の動きを見てみましょう。

心情の流れを見る

あえて犯人探しをしなくてもいいんじゃないか・・・　と「私」は心の中で思っている。

←

そんなことを考えていると、ザクミが手を挙げた。　「私」が考えているタイミングで

←

「あのう・・・このことは問題だとは思うんだけど、犯人探しを絶対にしないとダメなの？」

この発言に、私は少しドキッとした。

この流れからすると「私」が考えていたことと同じようなことを、ちょうどのタイミングでザクミが発言したので、ドキッとした　は驚きににも似たような心情だということがわかります。

それに言及している選択肢は　3　です。

他の選択肢は　ドキッとした　につながりません。

特に2　や　5　のような選択肢は「私」の心情を深読みし過ぎです。この小説には前の部分があり、もしかしたらそこにはそうしたことが書かれている可能性はありますが、小説問題を解く場合には、あくまで本文の場面からだけで判断をします。

では例題Bでやったことをまとめてみましょう。

まとめ2　小説問題と解く時に、心情問題で押さえておきたいポイント

・本文の前後などを類推して判断しない。
・心情の流れを見て判断する。
・登場人物の心情を深読みし過ぎないように注意する。

特に小説をこれまで読んできた方は気をつけるように心がけてください。無意識のうちのこれまで読んだ似たような小説の場面が思い浮かんで、つい深読みし過ぎることがあります。